

[04_05]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1467989>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 4 (5), 1971-10-15. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

負担金・料金について

大型計算機センターは、昭和40年度にまず東京大学、ついで昭和43年度に東北大学、京都大学、大阪大学および九州大学に設置され、昭和45年度に北海道大学、昭和46年度に名古屋大学に設置されました。これらの大型計算機センターは、すべて共通の理念—すなわち、学術研究に資すること、全国共同利用であること—のもとに設立されたもので、その運営に関してはほぼ同一の方式がとられています。これらのセンターの共通の問題を協議するため、大型計算機センター関係者と利用者組織である地区協の会長によって構成される全国共同利用大型計算機センター運用会議が設置されております。

この会議では、運営上または利用上の種々の問題が討議されていますが、利用者の方々に直接関係のある負担金の問題も大きな議題の一つです。このため運用会議の中に負担金・料金に関する検討を行なう負担金・料金問題小委員会が設けられ、負担金に対する考え方、負担金の算定基準、負担金の使途等について検討してきました。この文は、負担金・料金に関する第1次の結論に関する解説です。

—— 大型計算機センターの負担金・料金について

大型計算機センター運用会議 負担金・料金小委員会
委員長 小 野 周

大型計算機センターの負担金・料金に関する規程は、東京大学大型計算機センターが設置されたときの事情に応じて定められ、他のセンターの規定もほぼこれにならってつくられてきた。今回名古屋大学大型計算機センターが設置され、また昭和47年度から東京大学大型計算機センターの拡充計画が実施されることになるので、大型計算機センター運用会議では、全国的な視野でこの問題をとりあげることになった。そのため運用会議では「負担金・料金小委員会」を設置することになり、この小委員会は昭和45年11月20日以来この問題の検討をしてきた。小委員会は、この問題に関する原則的な事項を別紙の「負担金・料金について」にまとめて昭和46年5月19日の運用会議に報告し、承認された。この報告は簡単にまとめられているから、多少説明を加えないとわかりにくいので、以下その説明をのべる。

ここで負担金・料金とよんでいるのは、いずれも利用者または利用者の所属機関が、計算の経費の一部を大型計算機センターに支払うものであるが、国立大学が校費の移し替えという形で支払うものを「負担金」、公私立大学の経費または利用者が科学研究費で支払うものを「料金」とよんで区別する。

国の機関では、大学・研究機関の場合を含めて、必要経費を前の年度に概算要求で出し、これを大

蔵省が査定して次年度の政府予算案に組入れ、国会の審議を経て決定されたものがそれぞれの機関に示達されることになっている。各機関は、この示達された予算の範囲で運営して行くということが本来のたてまえになっている。これに対し、国の機関の中でも、大学附属病院のように、外部へのサービス業務を行ない、これに対する料金を徴集し、それによって半ば独立採算的に運営しているものもある。このような場合にも、会計上は、料金は歳入として一旦国庫に入りこれに見合う金額のものが、その機関に示達され、歳入と歳出は別建になっている。

大型計算機センターは、国立学校設置法施行規則（文部省令）にもとづいて、大学の研究者が学術研究に必要な計算を行なう目的で設置されていて、計算機のレンタル料およびその他運転に必要な経費、人件費等は、すべて国から支出される予算として計上されていて、もともとのたてまえからいえば、「使用料」を徴収しなくても業務が行なわれるようになっている。

しかし、現在の大型計算機センターの運営費は、1日の稼働時間8時間として積算され、また一方、運営費はレンタル料を基礎として積算されているが、実際に使用されているシステムはこれに相当するものより大きい。したがって現在のように、計算機を必要とする研究が多い現状では、このような大きな計算システムを1日8時間以上運転することはどうしても必要で、そのための経費を何らかの方法で支出しなければならない。この経費を支出するのに可能な方法を、利用者の負担によるもの以外に見出すことは非常に困難なので、結果としては、負担金および料金という形で利用者から「使用料」を徴集している。校費の移し替えによる負担金は運営費の一部として使われるが、そのほかの料金は歳入として国庫に入る。

以下運用会議で承認された「料金・負担金について」の項目について説明する。（48頁参照）

1. 負担金・料金は利用者へのサービス向上と同時に利用の適正化を行なうのに役立つ。

現在の負担金・料金の主要な役割が利用者へのサービスの向上であることを確認する。それと同時に、結果としては負担金・料金のため、各利用者がプログラムに関する種々の努力をせざるを得ないということも事実で、このような意味で適正化という役を果している。

2. サービスの向上については、利用者の要望に基づくもので広い範囲の利用者がそれによって利益を受けるものについてなされるべきである。

サービス向上の範囲をのべているもので、負担金が一般利用者の負担によるものであるから、負担金によるサービスの内容についてはできるだけ利用者の意見を反映するよう努力すべきである。また多くの利用者が平等に利益を得るようにすべきで、限られた人だけが利用し、全体として公平を欠くような設備の購入等にあてるべきでないことを示している。

3. 負担金は原則として超過運転を行なうのに必要な光熱水料消耗品等にあてるのは当然であるが、そのほかにもサービス向上のために必要なものにあてられるべきものである。

この趣旨は前文でのべた通りであるが、超過運転の直接経費だけでなく、プログラム教育、広報・ニュースの発行等にもあてられることを示している。

4. 一年間にセンターに移し替えられる負担金の額は、示達される年間の維持・運営費（光熱水料・消耗品等）をあまりに超えないことが望ましい。

負担金による移し替えの総額の大体の限度を示すものである。前文でのべたように、示達された運営費で維持運転するものが原則であるから、その原則に照して、移し替えによるものが、示達された予算をあまりに超えることは望ましくない。

その他の項目5～7については特に説明を要しない。

負担金・料金について

1. 負担金・料金は利用者へのサービス向上と同時に利用の適正化を行なうのに役立っている。
2. サービスの向上については、利用者の要望に基づくもので広い範囲の利用者がそれによって利益を受けるものについてなされるべきである。
3. 負担金は原則として超過運転を行なうのに必要な光熱水料・消耗品等にあてるのは当然であるが、そのほかサービス向上のために特に必要なものにもあてられるべきである。
4. 一年間にセンターに移し替えられる負担金の額は、示達される年間の維持・運営費（光熱水料・消耗品等）をあまりに超えないことが望ましい。
5. 計算機の長時間使用等のいわゆる大型計算について負担金・料金の減額をするべきであるという要望もあるが、これについては次の2つの考え方がある。
 - (A) 単純な計算で、実行時間がある程度以上長く、かつセンターの手数が省けるもの。
 - (B) 1つのプロジェクトについて理由を付してセンターに承認を申請し、これに関しセンターが適当と認めたもの。

負担金・料金の減額については、反対の意見もあり、さらに検討すべきものとする。

なお、委員会としては(B)についてはプロジェクトについての当否の客観的判断の基準を求めることはきわめて困難であるという見解に達した。

6. CPU T、入出力を基礎とした負担金・料金のほかに、たとえばファイル使用料のようなものが考えられる。

7. 引き続き、負担金・料金に関する具体的な問題について検当する必要がある。

プログラム指導員について

本年4月1日付でセンターのプログラム指導員制度が改正されました。従来連絡所付指導員は、センターの指導員講習会受講者の中から、地区協会長の推せんによりセンター長が委嘱しておりましたが、今回の改正により、指導員講習会受講者は自動的に指導員としてセンターに登録され、研究室等任意の場所で随時プログラム指導に当たっていただくことになりました。

また、センター付指導員は、プログラム相談員と名前を改め、指導員および利用者の中から適当な人をセンター長が委嘱し、一定時間センターのプログラム相談室でプログラム指導に当たっていただきます。

なお、利用者数が多い等特別の理由があり適当な人がいる場合は、連絡所にプログラム相談員を置くこともできます。プログラム指導員は、広報にその名簿が掲載されますので利用者の方々はもよりの指導員にご相談ください。

大型計算機センタープログラム指導員名簿

(FORTRAN)

氏名	身分	大学名	学部名	学科名	連絡先
古谷 宜子	教務員	山口大学	工学部	電気工学科	(0836) 31-5100 内 265
長谷部 勝彦	助手	"	文理学部	物理学科	(08392) 2-6111 内 375
中村 俊郎	教授	"	農学部	農学科	(08392) 2-6118 内 421
山下 英生	助手	広島大学	工学部	電気工学科	(0822) 41-1161 内39
嶺 勝敏	助教授	宇部工業高専		電気工学科	(0836) 31-6111 内64